

F-43 デルファイ方式による未来生活の予測 その1 衣生活に関する予測
学習院短大 ○斎藤道香他6名

目的 本調査研究の目的は生活指標の基礎資料を得ることであって、このためデルファイ方式により生活全般に対する未来像の予測を行うことである。

方法 本調査はアンケートにより斯界の指導的立場の方々の忌憚ない意見を収集し、その結果を分析検討するものである。なおデルファイ方式に従い、今後更に同一内容のアンケートを繰り返して回答者の意見を習練させる予定である。

結果 本アンケートの実施期日は本年6月21日の調査票発送に始まり2回の督促を経て7月20日締切日に終了した。調査対象としては専門家408名を選び依頼し、その中256名(約7割)の回収を得た。

衣生活の問題としては、(A) 生活に関する研究開発についての予測として5項目 (B) 家庭単位における生活予測7項目 (C) 社会単位における生活予測として2項目、以上14項目についての質問をした。その中、衣生活に関する項目は専門家57名の回答結果と、回答者の全部との比較対称、また、世代別にみた衣生活に関する予測等に付き検討したが、この結果の詳細は多様であるため本紙面の都合上省略する。